

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	平成23年3月11日の東日本大震災の影響で、電気、ガス、灯油、ガソリンなどが不足し、サービスに支障をきたした。非常災害時の対応マニュアルが活かされなかった。	ライフラインの確保など、非常災害時の対応マニュアルを見直し、今回の震災を今後に活かす。	今回の震災の影響を全員で振り返り共有する。 非常災害時の対応マニュアルの見直し。 発電機、電池の確保、ガソリンの備蓄。飲料水、非常食の量や災害時の備品についての再検討。連絡がつかない時の、職員、家族、近隣の協力体制、方法など。	6か月
2	35	避難訓練を定期的に行っており、消防署や町内の運営推進委員も参加しているが、外部の人の具体的な役割が出来ていない。	災害時に備え、運営推進委員や近隣の住民の具体的な協力方法を段階的に整える。	避難訓練時、運営推進委員以外の近隣の方などへの働きかけ。避難場所での見守りの仕方(旗や腕章などの目印や、職員・消防署との連携方法など)。	12か月
3	12	キャリアパスのガイドラインを作成したが、それが職員一人ひとりの具体的なステップアップにつながっていない。	理念をもとに、職員一人ひとりが将来の自分のビジョンを持ち、取り組めることで、働き甲斐につながる。	個別の目標へ向け、管理者が個別面談を実施。その後、評価、フィードバックなどのサポート体制を作る。	12か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。